

新発田市議会12月定例会

一般質問

渡辺喜夫議員

一、「定額給付金」の支給に伴う市役所の業務対応と地域経済の活性化対策について

(1)「定額給付金」の申請および支給に係わる窓口対応などプロジェクトチームを早急に立ち上げるとともに、高額所得者への支給問題も含め市長の認識と対応を伺う。

(2)金融危機による市民生活への影響を市長はどう認識し、今回の「定額給付金」がどのような効果と期待ができるか伺う。

(3)「定額給付金」が市内の消費活動に有効に使っていただけるような対策と地域経済を活性化させる対策について。



一般質問する渡辺喜夫議員

市長答弁要旨

「定額給付金」の申請および支給に係わる窓口対応などプロジェクトチームを早急に立ち上げるとともに、高額所得者への支給問題も含め市長の認識と対応について

定額給付金事業につきましては「住民への生活支援」と「地域の経済対策」に資することを目的として、給付額は世帯構成員1人につき1万2千円、65才以上と18才以下は2万円とする、という基本方針が総務省から示されているところであり、

定額給付金の事務処理につきましては、現段階では総務省から「たたき台」としての

素案が示されたばかりではありますが、今後、現場である市町村の担当者からの様々な意見を集約した上で、12月中には総務省で具体的な内容が決定されることとなっております。

この決定後、短期間の中での膨大な事務量が想定されますことから、事務処理体制については十分に整え対応してまいりたいと考えております。

また、所得の高い方の取り扱いについては「所得を基準とする給付の差異を設けないことを基本とする」として全世帯の全ての人に、年度内給付を指しておりますことから、この方針に基づいて給付事務を進めているかなければならないものと考えているところであります。

金融危機による市民生活への影響をどう認識し「定額給付金」がどのような効果と期待ができるかについて

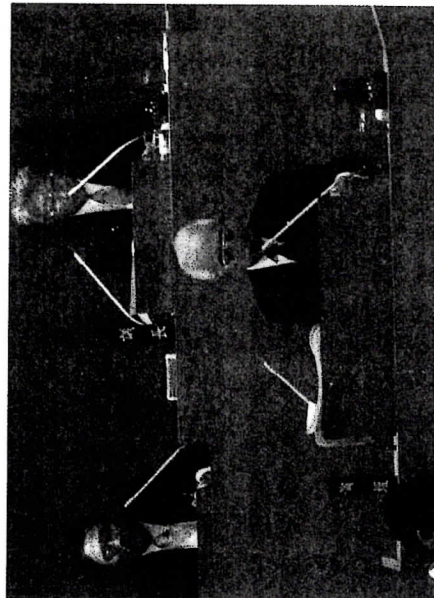
今年11月の内閣府の月例経済報告や、連日の新聞、テレビ等で報道されておりますとおり、世界的な金融危機による景気の低迷により国内経済の悪化、雇

用情勢も含め、景況がさらに厳しいものとなってきており、今後市民生活への影響が懸念されると認識しております。

このような状況の中で、現在「定額給付金」の給付が国で検討されておりますが、これは「新たな経済対策に関する政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議」で決定された、景気後退下での住民の不安に対処するための生活支援を行うとともに、あわせて、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資することを目的としております。

当市といたしましては、定額給付金の給付につきましては、生活者の不安の解消という目的が達成され、更に当市の経済の活性化に繋がるよう期待しているところであります。「定額給付金」が市内の消費活動に有効に使っていただけるような対策と地域経済を活性化させる対策について

当市におきましては、平成11年に国の「緊急経済対策」として、若い親の子育てを支援し、あるいは高齢福祉年金などの受給者や所得が低い高齢者などの受給者などの経済的負担を軽減し、もって、個人消費の喚起及



質問に答える片山吉忠市長

び地域経済の活性化を図るため、地域振興券を交付いたしました。

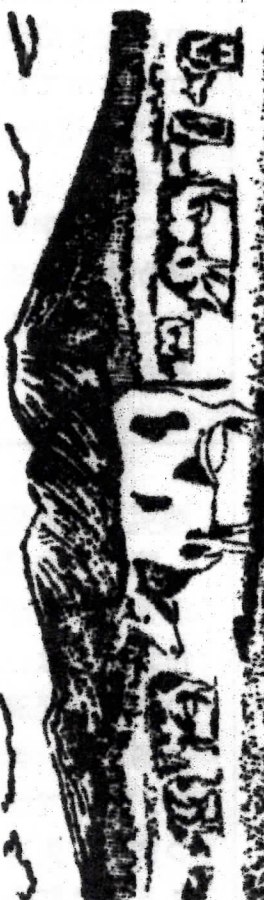
取扱事業者のほとんどが市内業者に限定されており、地域経済の活性化に一定の効果があったものと考えております。

また、平成13年には、地域商業の活性化対策として、新発田商工会議所が主体となり、プレミアム商品券を発行し、市内消費の喚起、消費者の市外への流出防止などに効果があったものと聞いております。

しかし、このたびの「定額給付金」につきましては、これまでの地域振興券や、プレミアム商品券とは違い、消費活動の地域の限定は困難であると考えております。

このことから「定額給付金」の給付

を機会に、市内での消費活動に繋げるための商店街等によるイベントなどの活動も期待しております。



渡辺よしお通信